



農大だより

URL <http://www.pref.kagawa.jp/nodai/>

第 1 号 平成19年10月15日

香川県立農業大学校

〒 766-0004

仲多度郡琴平町榎井34-3

TEL 0877-75-1141

FAX 0877-75-3989

E-mail:nodai@mx8.tiki.ne.jp



発刊に寄せて

校長 西谷 寛昭



農業大学校は、昭和五二年の開校以来、一貫して次代の農業・農村を担い、地域における農業振興に指導的な役割を果たす人材を養成する機関としての役割と機能を果たしてきました。

しかし、農業就業人口の減少と少子高齢化、グローバル化の進展など農業情勢の変化、農業法人など組織経営体による地域農業の再編成、団塊の世代の定年帰農者や転職者等の農業参入者の増加など農業大学校を巡る情勢が大きく変化しつつあります。

こうした本県の農業・農村の実情や時代の要請に応じた農業大学校に変わっていく必要があると考え、現在、今後の農業大学校のあり方に

ついて検討を始めているところでありあります。

このたび、発刊をスタートさせました「農大だより」は、その具体化された取組みの一つであり、農業大学校の教育研修活動を広く知っていただき、県民や保護者などの御理解と御協力の下、開かれた農業大学校をつくりたいとの願いが込められております。お読みいただき、御意見や御要望をお寄せいただきたいと思っております。

今後とも、農業大学校が県内で唯一の農業・農村への有為な人材育成機関としての基本的使命は、変わることはないと思えます。このため、今後の農業・農村で求められる多様な人材を送り出すことができる魅力ある農業大学校づくりを進めていきたいと考えています。

職員一同、これからも学生、同窓生が誇れる大学校を目指し尽力していく決意でありますので、保護者、同窓生を始め、関係各位の変わらぬ御理解と御支援をよろしくお願ひします。

全国交換大会 in 熊本

花き園芸コース准教授 村上一男

七月一八日～二〇日、国立阿蘇青少年交流の家（熊本県阿蘇市）で第三八回全国農業大学校交換大会が北海道から沖縄まで二五八名参加のもと開催されました。会場は標高約六〇〇メートルで涼しく、天候にも恵まれ快適に過ごすことができました。本校からは、池尻君（二年生、野菜園芸コース）、大西さん、廣瀬さん（一年生、花き園芸コース）、大相さん（一年生、造園緑化コース）が参加しました。

主な内容は課題別研修、意見交換



会場内の様子



みんな笑顔で

物を、今後も大切に育んでもらいたいと思いたいと思いました。

会でした。課題別研修では、四コースに分かれ、現地でのテーマに沿った先進事例の実践者からの話を聞き、コース別にそれぞれを体験しました。意見交換会では、AとLの十二班に分かれ、共通のテーマ「こうすればいいよ！農大のPR、情報発信」について話し合われました。農大のPRに関心が高い参加者が多く、時間が経つのも忘れ熱心に取り組んでいる姿が印象的でした。

当初は、他校の学生との交流に戸惑っていましたが、研修や生活を共にすることで、徐々に友情が芽生え深まっていきました。今回、彼らが手にした友情というかけがえない宝物を、

北海道現場実習に参加して

野菜園芸コース二学年 吉岡悠平

私は、この夏七月二十九日～八月五日、財団法人香川農林振興財団が主催する第二回北海道現場実習に県内の農業高校生五名と共に参加しました。実習先は「神内ファーム21」という農業生産法人です。この農場は、札幌市から北に約八〇km行った樺戸郡浦臼町にあり、面積は八〇〇ha（なんと東京ドームの約一八〇倍！！）、そこでは肉牛、めん羊等の畜産部門を中心に、パイアヤ、マンガーなどの熱帯果樹や植物工場での野菜類栽培に取り組んでいます。

神内ファームを訪れたとき、まず驚いたのがその広さです。見渡すかぎりの牧草地に牛が放牧されていたのは衝撃を受けました。また、最高気温が二五度で湿度も低かったので、実習の能率がものすごく上がりました。実習は畜産部門が中心で、濃厚飼料や乾草などの餌やりをはじめ、去勢、除角、直腸検査、母牛から子牛を離す離乳、哺乳、牛の出産の補助などの作業をしました。また、果樹



実習も一苦労（左端が私）

の実習もあり、パイナップル苗の鉢上げ、かん水、イチジクの着果数調査をしました。

今回の実習で一番心に残ったのは、牛の出産でした。子牛の前足が出てきており、縄で縛り引っ張り出しました。出産を間近で見たのでとても感動しました。

この北海道実習は私にとって、新しい発見の連続でした。今後の農業に対する考えに役立てていきたいと思いたいと思います。



参加者全員で記念写真（左から2番目が私）

農業大学校の現況

現在、担い手養成科には二年生が三名、一年生が二八名在籍しています。日々講義や実習に励んでいます。

最近の卒業生の進路については、ここ二年は就農のうち農業法人への就農が着実に増えています。また、

年度	卒業生数	最近の卒業生の進路 (単位:人)					
		就農	就職				
		うち研修後	公務員	J A 等	農業関連会社	その他(進学等含む)	
13	35	12	3	2	2	10	9
14	47	10	3	2	5	14	16
15	36	6	3	2	5	12	11
16	43	10	3	0	0	10	23
17	37	9	2	0	3	8	17
18	39	15	5	1	3	13	7



大教室での講義

主な就職先としては J A やゴルフ場を含む造園会社、青果物や花を取り扱う卸売市場やその関連会社、缶詰などの食品製造関連会社及び農機具メーカーなどです。その他、海外研修として本年度は、野菜園芸コースの卒業生一名が一年半の予定でアメリカ合衆国の農業や文化を肌で感じています。

技術研修科には長期研修生(一年間)が一四名、短期研修生(三か月間、秋冬コース)が一名在籍し、就農を目指して技術と知識を高めています。

活躍する修了生

佐古 元行さん (坂出市)

技術研修科 平成一六年度修了



技術研修科の修了生は、自家で農業経営を実践する人がほとんどですが、中には青果物流通の世界に入り活躍されている方がいます。ここではその中の一人である佐古元行さんの紹介をさせていただきます。

『旬菜市场 ファイン』

佐古さんは、農大に来る前は大手電子機器メーカーで材料の調達、総務等の経歴があります。

定年退職後に、第二の人生は何か地域の方の役に立ちたいという想いから、当初「安全で美味しい野菜の栽培」を計画しました。その後、新鮮・安全な野菜の販売を通じ、農家とお客様が相互理解でき、多くの

方々の「身体と心を元気に」日々の生活を楽しく送ってもらいたいという観点で、研修に取り組みました。

研修期間中から準備を進め、平成一七年四月に坂出市久米町で産直施設『旬菜市场ファイン』をオープンしました。野菜の出荷者と購入者が次第に増え、予想外の拡大が必要となったようです。その結果、平成一八年三月小売業の大手量販店の坂出店への出店も実現しました。平成一九年二月には高松店に出店しました。旬菜市场ファインでは特にトマトには力を入れています。昨年一〇月にはアグリ事業として坂出市の府中湖近くに整備した大規模ハウスで年間八〇トンのフルーツトマトを生産する県内食品会社と提携し、販売力の一層の強化を図っているそうです。今後、新しい発想で流通業界に挑戦して行きたいと考えられており、優秀なスタッフとこだわり生産者を探しています。

農産物直売所のご案内

農大では、学生が丹精込めて育てた農産物を実習の一環として販売しています。

朝収穫した季節の野菜や果物、切花、鉢花などの新鮮な農産物を取りそろえ、みなさまをお待ちしています。今後、秋の深まりとともにニンジン、キャベツ、ダイコン、トマト、葉ボタン、パンジー、ビオラ、カキ、キウイフルーツ等が店頭に並び予定です。

●開設日

毎週月、水、金曜日

(※ただし、祝祭日は除く。また、日程変更することがあります)

●開設時間

午後一二時四五分〜一時三〇分



校内農産物直売所
学生会館1F
〔正門入った左側〕

平成二〇年度学生募集

担い手養成科

募集人員

野菜園芸・花き園芸・果樹園芸・造園緑化・畜産コース 四五名

●なお、野菜園芸、花き園芸、果樹園芸、造園緑化は概ね一〇程度、畜産コースは五名程度です。

募集方法(一般入試)

受付期間 二月七日(金)〜

一二月二一日(金)

試験日 一月一〇日(木)

試験内容 小論文、面接試験

合格発表 一月一七日(木)

(※推薦入試は受付終了しました。)

技術研修科

新規就農者研修課程等については、左記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

農業大学校総務研修課または教務課

課

受付時間は午前八時三十分から午後五時一五分となります。

TEL 〇八七七(七五) 一一四一

FAX 〇八七七(七五) 三九八九

本校ホームページでも募集の要項が確認できます。

「農大ふれあい市」のお知らせ

学生自治会が主体となって企画、運営を行う恒例の「農大ふれあい市」を開催します。研修生、後援会会員も参加します。

本年も趣向を凝らした企画を用意しておりますので、お誘い合わせの上お越しください。

●開催日

平成一九年一月一〇日(土)

●開催時間

午前一〇時から午後二時まで

●内容(予定)

農産物販売(野菜、鉢物、果物、



農産物販売コーナー
昨年の「農大ふれあい市」より

花苗、堆肥等)・模擬店(うどん、焼きそば、からあげ、コーヒール等)、バー(アウトレット、不用品) ④
なお、駐車場は用意しておりますが台数に限りがありますので、公共交通機関もご利用ください。

今後の学校行事計画

10月25日	推薦入学試験
11月10日	農大ふれあい市
1月10日	一般入学試験
1月25日	校内卒業論文発表会
2月7,8日	中四国ブロックプロジェクト発表会(島根県)
2月26,27日	全国農業大学校プロジェクト発表会(東京都)
3月4日	卒業式(予定)
3月12~14日	1学年県外先進地研修

編集後記

「農大だより」第一号を発行することが出来ました。まだまだ、不十分なところばかりですので、皆様のご意見を頂きたいと思えます。 ④